

# ハーモニー

Harmony

第62号 2013年9月10日発行

日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座  
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

## 目次

第21回学術集会のお誘いと企画紹介・・・	1
第21回学術集会プログラム.....	2
学会活動委員会の取り組みについて-ご報告とご案内-	5
特別企画「東日本大震災を経験して-被災地の今-」④	6
「私の実践と研究」リレー・レポート⑭	6

トピックス：男性養護教諭友の会の紹介・・・	7
2013年度総会告示.....	8
学会誌第17巻第2号投稿原稿の募集.....	8
事務局より.....	8
編集後記.....	8

## 日本養護教諭教育学会 第21回学術集会(兵庫)のお誘いと企画紹介

学会長 北口 和美  
(近大姫路大学：前大阪教育大学)

今夏は猛暑の連続でしたが、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて研究・研修にお励みの事と思えます。21回学術集会も近づいて参りました。お誘いと企画紹介をさせていただきます。

兵庫県は本州で唯一、北は日本海、南は瀬戸内海の2つの海に面しています。神戸市は明治22(1889)年に誕生し、「国際性」「開放的で自由な気風、風土」「異国情緒」等の都市イメージを持つ町であり、内外からの訪問者に楽しんで頂ける観光地でもあります。会場「シーサイドホテル舞子ビラ神戸」は、明石海峡大橋を目前に風光明媚な場所にあり、皆様に秋の神戸をご堪能いただけたと思います。

さて、21回学術集会は20年の歴史と歩みを踏まえ、これからの学会を創る第一歩であることを重く受け止め、これからの時代を切り開く学術集会になるよう努力を重ねております。メインテーマは「養護教諭の職の深化を究める」としました。子ども達の心身の健康を保持増進し、教育の効果に資するという職の確かさを確立する、養護教諭の力量形成・資質向上を図るという課題への取り組み、さらに、養護教諭教育学会と冠するが、養護教諭に限らず、同じ課題や興味を持つ

人々が、新しい知見、実践、研究を発表・討論できる場として企画しました。学会の、養護教諭の社会的存在意義を確かなものにしていきたいと思えます。

学術集会初日(12日)は、プレコンgresとして『今、改めて「養護教諭の倫理綱領」について考える』を行います。学術集会最初のプログラムは、「養護教諭の職の深化を究める-養護教諭の過去・現在・未来-」と題し学会長講演を致します。職務の進化を図ってきた養護教諭の歴史と、これからの職の深化を究めるために必要なことを考えたいと思えます。次にメインシンポジウム「養護教諭の職の深化を究める-3つのステージの今、これから-」、さらにミニシンポジウム「養護教諭のキャリア形成」「養護教諭をめぐる課題-男性養護教諭を通して考える-」「養護教諭の役割-中核的な役割を果たすということ-」の3題を企画しました。2日目(13日)は、教育講演「非配偶者間人工授精で生まれた子どものサポート」と題し、横浜市立大学附属市民総合医療センター感染制御部医師加藤英明氏に医療の進歩の中で抱える子どもの問題について講演を頂きます。一般演題(口演24題、ポスター22題)は午前・午後4会場にて実施し、昼食は企業の協賛によるランチョンセミナーにご参加下さい。その後、総会・学会助成研究の発表。最後まで活発な討論をお願い致します。神戸で皆様のご参加をお待ちしています。

メインテーマ:「養護教諭の職の深化を究める」

期 日:2013年10月12日(土)12:20 ~13日(日)16:00

会 場:シーサイドホテル舞子ビラ神戸(神戸市垂水区東舞子町18-11)

10月12日(土) 9:40~受付 2階ホール

◇プレコンGRESS (10:30~11:50) 第4会場 六甲Ⅰ

今、改めて「養護教諭の倫理綱領」について考えるー専門職としての資質向上を目指してー

理事会・養護教諭の倫理綱領検討特別委員会

◇学会長講演 (12:30~13:20) 第1会場 ホール …………… 座長 岡田 加奈子(千葉大学)

「養護教諭の職の深化を究めるー養護教諭の過去・現在・未来ー」 北口 和美(近大姫路大学)

◇シンポジウム (13:30~15:30) 第1会場 ホール

「養護教諭の職の深化を究めるー3つのステージの今、これからー」

コーディネーター 出井 梨枝(元園田学園女子大学) 大平 曜子(兵庫大学)

シンポジスト 岡田 加奈子(日本養護教諭養成大学協議会会長)

細川 愛美(神戸市教育委員会事務局指導部 総合教育センター 指導主事)

西川 優子(長崎県五島市立玉之浦中学校 養護教諭)

津谷 治英(神戸新聞社 編集委員)

◇ミニシンポジウムー養護教諭のこれからー

・ミニシンポジウムⅠ (15:40~17:40) 第1会場 ホール

「養護教諭のキャリア形成」

コーディネーター 林 照子(園田学園女子大学) 鍛冶 佐知子(神戸市養護教諭研究会)

シンポジスト 鈴木 秀子(大阪府立北淀高等学校) 津島 ひろ江(川崎医療福祉大学)

浅野 良一(兵庫教育大学)

・ミニシンポジウムⅡ (15:40~17:40) 第2会場 六甲Ⅱ

「養護教諭をめぐる課題ー男性養護教諭を通して考えるー」

コーディネーター 米野 吉則(聖カタリナ大学短期大学部) 西浦 裕子(兵庫県私立学校養護教員研究会)

シンポジスト 市川 恭平(愛知県名古屋市長西養護学校) 梅谷 伊都子(大阪府吹田市立南山田小学校)

中尾 直史(元雲雀ヶ丘学園中学校高等学校) 川又 俊則(鈴鹿短期大学)

・ミニシンポジウムⅢ (15:40~17:40) 第3会場 六甲Ⅲ

「養護教諭の役割ー中核的役割を果たすということー」

コーディネーター 森脇 裕美子(姫路獨協大学) 熊澤 智美(兵庫県立学校養護教諭研究会)

シンポジスト 山本 みさ(鳥取県鳥取市立気高中学校) 戸野 香(広島県立三原高等学校)

中尾 繁樹(関西国際大学)

◇懇親会 (18:00~20:00) 3階 舞子

10月13日(日) 8:50~受付 2階ホール

◇教育講演 (10:40~12:10) 第1会場 ホール …………… 座長 北口 和美(近大姫路大学)

「非配偶者間人工授精で生まれた子どものサポート」

加藤 英明(横浜市立大学附属市民総合医療センター医師)

◇ランチョンセミナー (12:20~13:10) 第2・第3会場 六甲Ⅱ・Ⅲ

「電磁波の健康影響ー電磁波リスクとの付き合い方ー」

大久保 千代次(電磁界情報センター所長・WHO国際電磁界プロジェクト国際諮問委員会委員)

◇総会 (13:20~14:20) 第1会場 ホール

◇学会助成研究発表 (14:30~15:00) 第1会場 ホール …………… 座長 後藤 ひとみ(愛知教育大学)

保健室の史的的研究ー保健室におけるケアの機能の視点からー

○竹下 智美(一橋大学大学院社会学研究科)

◇一般演題Ⅰ (9:20~10:20) 第1会場 ホール

- <原理、歴史、養成教育> ..... 座長 徳山 美智子 (元大阪女子短期大学)
- I-1 養護教諭の倫理綱領(案)の内容と構造の考え方一考察  
一養護教諭の職務と専門性の羅針盤とするために一 ○鎌田 尚子 (高崎健康福祉大学)他
  - I-2 養護教諭の倫理綱領(案)等の事例からの検討  
一養護教諭の職務と専門性の羅針盤とするために一 ○中村 朋子 (茨城大学)他
  - I-3 養護教諭養成の新しい実践学構築のための教育実践の再検討について  
○横島 三和子 (湊川短期大学)他
  - I-4 日本養護教諭教育学会における研究発表の演題区分に関する検討  
一第20回学術集会のエントリー状況の分析から一 ○後藤 ひとみ (学会活動委員会)(愛知教育大学)他

◇一般演題Ⅱ (9:20~10:35) 第2会場 六甲Ⅱ

- <養成教育、現職教育> ..... 座長 鈴木 裕子 (国士舘大学)
- II-1 養護教諭の資質能力・成長の規定要因の検討  
一現職養護教諭の自己省察を通して一 ○世一 和子 (岐阜県立看護大学)
  - II-2 社会人基礎力に着目した養護実習自己評価票作成の試み  
○工藤 宣子 (千葉大学)他
  - II-3 養護教諭の実践力育成を目指したリフレクション・プログラムの検討  
一シンガポールNIEの教師教育を参考として一 ○斉藤 ふくみ (茨城大学)他
  - II-4 養護教諭養成課程での性教育法の課題 一高等学校を中心に一 ○梨木 昭平 (太成学院大学)
  - II-5 養護教諭の専門性を生かした保健学習の実践  
○浅井 千恵子 (花園大学)

◇一般演題Ⅲ (9:20~10:35) 第3会場 六甲Ⅲ

- <保健管理、保健室経営> ..... 座長 小林 央美 (弘前大学)
- III-1 中学校・高校での思春期の開始を確認することの重要性  
女生徒での思春期開始のスクリーニング方法の提案 ○望月 貴博 (大阪警察病院 小児科)
  - III-2 保健室の居場所機能に関する養護教諭の意識  
一教室との比較において一 ○河本 肇 (広島国際大学)
  - III-3 C中学校区の子どもと保護者の歯科口腔保健に関する研究  
○大野 泰子 (鈴鹿短期大学)
  - III-4 教育支援センター(適応指導教室)における健康課題(2) ○江崎 和子 (園田学園女子大学)他
  - III-5 教職員とともに取り組む健康相談の体制づくりにむけた試み  
一入学手続き時に行う面接結果を生かして一 ○山崎 隆恵 (神奈川県立綾瀬西高等学校)他

◇一般演題Ⅳ (14:30~15:45) 第2会場 六甲Ⅱ

- <健康教育> ..... 座長 林 典子 (東海学園大学)
- IV-1 女子大学生の子宮頸がんの予防に関する知識と意識の現状 ○出戸 奈津子 (青森市立沖館小学校)他
  - IV-2 女子大学生における月経前の心身の不調に関する実態  
一基礎体温測定および月経期間・日々の心身の不調の記録の実施による報告一  
○遠藤 瑠生 (弘前大学大学院教育学研究科)他
  - IV-3 高校生の生活習慣に関する一考察 ○森田 理智代 (鳥取県立倉吉西高等学校)
  - IV-4 小学校における健康教育カリキュラムの実証的検討~養護教諭の実践を通して~  
○丸山 美貴 (新潟県教育庁上越教育事務所)他
  - IV-5 中学校で行う性教育  
~保健体育教師と養護教諭の意識をめぐって ~○小野 真梨恵 (九州女子短期大学 専攻科)他

◇一般演題Ⅴ (14:30~15:45) 第3会場 六甲Ⅲ

- <養護実践> ..... 座長 古賀 由紀子 (九州看護福祉大学)
- V-1 「連携プロセス」からみた養護教諭のかかわりの検討  
一学校不適応行動を示す生徒の事例を通して一 ○強力 さとみ (三重県伊勢市立厚生中学校)
  - V-2 発達障害のある子どもを持つ保護者の思いからみる養護教諭の役割  
○溝淵 千夏(京都府立医科大学付属病院)他
  - V-3 養護教諭の研究活動と職務に対する自己効力感との関連(第1報)  
一研究活動の現状についての調査結果の分析一 ○渡辺 美恵 (岐阜県立関市立旭ヶ丘中学校)他
  - V-4 摂食障害児に対する学校での支援と養護教諭の役割  
一保健指導プログラムの開発一 ○唐木 美喜子 (兵庫県立東はりま特別支援学校)
  - V-5 小学校通常学級に在籍する発達障害児の保護者支援  
一保護者の養護教諭に対する役割期待と役割遂行の比較から一 ○吉田 順子 (元明石市立人丸小学校)

◇ポスター発表Ⅰ (9:20～10:35) 第5会場 3階 藤

- <養護実践、その他> ..... 座長 棟方 百熊 (岡山大学)
- P-I-1 養護教諭のコーディネーション行動に関する研究 ○中田 好美 (加西市立富田小学校)他
- P-I-2 小学校における養護教諭の児童虐待対応と家族支援(第3報)  
～養護教諭が感じた困難感と成果～ ○青柳 千春 (桐生大学医療保健学部)他
- P-I-3 保健室における学びの組織について ○向山 世璃子 (湊川短期大学)他
- P-I-4 不登校児に対する学生・教職員のイメージの分析 ○河井 大輔 (北翔大学)他
- P-I-5 児童生徒の健康課題における小地域分析  
～H市の定期健康診断の結果から～ ○中山 いつみ (坊勢中学校)

◇ポスター発表Ⅱ (9:20～10:35) 第5会場 3階 藤

- <健康教育> ..... 座長 櫻田 淳 (埼玉県立大学)
- P-II-1 定時制高校の性に関する現状  
～生徒への質問紙調査から～ ○鈴木 真紀子 (埼玉大学)他
- P-II-2 月経用布ナプキンの使用が心身に及ぼす影響 ○渡邊 佳子 (共和町立共和中学校)他
- P-II-3 中学3年生を対象とした『命の学習講座』(その1)  
～地域・行政・大学との連携・協働によるとりくみ～ ○児島 啓子 (長久手北中学校)他
- P-II-4 中学3年生を対象とした『命の学習講座』(その2)  
～看護大学生ピアによる生と性に関する健康教育の実践～ ○浅野 いずみ (愛知医科大学看護学部)他
- P-II-5 中学生がとる同調行動と対人恐怖心性との関連 ○本田 優子 (熊本大学教育学部)他

◇ポスター発表Ⅲ (14:30～15:15) 第5会場 3階 藤

- <現職教育> ..... 座長 加藤 和代 (兵庫大学)
- P-III-1 養護教諭のフィジカルアセスメント研修への取組み  
－頭部外傷事例を想定した演習から学ぶ－ ○中島 敦子 (梅花女子大学)他
- P-III-2 養護教諭のストレスとレジリエンス、ソーシャルサポートの関連  
○大信田 真弓 (埼玉大学大学院教育学研究科)他
- P-III-3 養成大学における養護教諭初任者支援研修プログラム開発 ○櫻田 淳 (埼玉県立大学)他

◇ポスター発表Ⅳ (14:30～15:15) 第5会場 3階 藤

- <現職教育、保健管理> ..... 座長 墨谷 きみ (兵庫県養護教諭研究会連盟)
- P-IV-1 現職養護教諭が直面する問題 ○野本 百合子 (愛媛県立医療技術大学)他
- P-IV-2 学生の健康観察に関するイメージ ○鈴木 薫 (就実大学)他
- P-IV-3 幼稚園における感染症対策とその効果に関する一考察 ○木下 静 (禅昌寺幼稚園)他

◇ポスター発表Ⅴ (15:15～16:00) 第5会場 3階 藤

- <養成教育> ..... 座長 工藤 宣子 (千葉大学)
- P-V-1 養護教諭の喫煙予防教育に関する研究 ○磯田 宏子 (園田学園女子大学)
- P-V-2 養護教諭志望短期大学生への「教職実践演習」授業実践の検討 ○古角 好美 (大阪女子短期大学)
- P-V-3 養護教諭養成におけるフィジカルアセスメント能力の育成  
－シミュレータを活用した試み－ ○郷木 義子 (就実大学)他

◇ポスター発表Ⅵ (15:15～16:00) 第5会場 3階 藤

- <養成教育> ..... 座長 山崎 隆恵 (神奈川県立綾瀬西高等学校)
- P-VI-1 保健指導の実践力の向上方策  
－実習後の相互評価の観点を中心に－ ○棟方 百熊 (岡山大学)
- P-VI-2 養護教諭養成教育における病院実習の効果  
－情意領域に焦点をあてて－ ○筒井 康子 (九州女子短期大学)他
- P-VI-3 短期大学における養護教諭養成の展望  
～養護教諭養成課程に在籍し、保育士資格取得を希望する学生の意識調査より～  
○江寄 和子 (園田学園女子大学)

## 学会活動委員会の取り組みについて —ご報告とご案内—

後藤ひとみ（学会活動担当常任理事）

下記の3項目は、4月の理事会で提示した今年度の学会活動の計画です。各項目の進捗状況についてお知らせ致します（枠内をご覧ください）。

### 1. 養護教諭の専門領域に関する用語の検討

ハーモニーやHPを活用して、常時、「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集<第二版>」（2012.10.1発行）に対する会員・会員外からの意見募集を行う。意見が出された時には速やかに公表し、検討の俎上にのせる。

昨年10月以降、400冊余りを販売しました。いくつかの地区では、「養護教諭の集まりで配付し研修したい」とのことで数十冊のまとめ買いをしてくださっています。10冊以上は送料無料です。もっと多くの方々に活用していただき、専門用語への共通理解を深めていただければと思います。そして、改訂へのご意見をお寄せいただき、より良い解説集にしていきたいと思っています。増刷は可能ですので、是非、たくさんの方に宣伝して下さいますようお願い致します。

### 2. 養護教諭の資質向上や力量形成に関する事項の検討

「養護教諭の倫理綱領」に関する検討を進め、途中経過については、第21回学術集会（神戸）のプレコンgresで報告し、参加者からの意見を求める。第VI期（2012～2014年度）理事会の提案として、2014年度総会にかけられるよう検討を進める。

理事会の議を経て、「養護教諭の倫理綱領検討特別委員会」を立ち上げました。当初の計画では、本会代表と現職養護教諭の組織代表による検討を考えていましたが、計画を一部変更し、まずは本会理事長、学会活動委員会の理事、前共同研究の代表者による検討を進めています。

#### <検討の方向性>

養護教諭の拠り所となるよう、養護教諭の行動基準や専門性の基盤ということを意識して、公表されている共同研究の内容を精査していく。

#### <プレコンgresの企画>

●テーマ：今、改めて『養護教諭の倫理綱領』について考える—専門職としての資質向上を目指して—

●開催日時：2013年10月12日（土）10時30分～11時50分

●開催場所：第21回学術集会会場

●主催：理事会、養護教諭の倫理綱領検討特別委員会

●内容：今、なぜ倫理綱領を作成する必要があるのか、倫理綱領があることのメリットは何なのか、どんな内容が望ましいのかなど、会員・会員外の参加者の方々とともに自由な意見交換を行いたいと思います。是非、ご参加下さい。

### 3. 養護教諭教育に関する検討

学会設立20周年を契機として、昨年度の第20回学術集会から導入した「学術集会における一般発表の演題区分の提示」の充実にむけて、第20回でのエントリー状況の分析結果を第21回学術集会にて発表する。分析をふまえて、10項目の内容や表記について再検討し、会員全体にはかかっていく。

演題区分の提案を生かしながら、養護教諭教育を冠した学会の社会的責任として、できるだけ早期に、養護学または養護教育学の内容構成に関する提案を行う。なお、抄録集のみならず、各会場にも発表演題の区分名を明示し、養護教諭教育の構成領域の意識化を少しずつ進めていく。

まずは、よくある学問的な区分を意識し、さらに、本会の名称である「養護教諭教育」の構成要素（養護実践・養成教育・現職教育の三位一体）を意識して、10項目（①原論・歴史、②制度、③養成教育、④現職教育、⑤保健管理、⑥健康教育、⑦組織活動、⑧保健室経営、⑨養護実践、⑩その他）の演題区分を提示しました。

第20回学術集会抄録集には41演題（口演24題、ポスター17題）が掲載されており、その演題区分は発表者の申請通りです。したがって、抄録で述べられている研究内容と区分とが合致していない場合が散見されます。

そこで、学会活動委員会を構成している3名の理事が分析を行いました。今後への課題など、第21回学術集会にて報告致しますので、ご参加いただければ幸いです。

●演題名：日本養護教諭教育学会における研究発表の演題区分に関する検討—第20回学術集会のエントリー状況の分析から—

●発表者：学会活動委員会／後藤ひとみ（愛知教育大学）、今野洋子（北翔大学）、入駒一美（岩手県教育委員会）

以上3項目のほか、会員の皆様の意見をもとに必要な事項に取り組んでまいります。

特別企画 『東日本大震災を経験して  
—被災地の今—』④

「本校の現状と今後に向けて」

小菅 光恵（岩手県立山田高等学校）

本校は、陸中海岸のほぼ中央に位置する山田町の唯一の高校で、創立88年になる普通高校です。山や海に囲まれた自然豊かな環境にあり、部活動も盛んで、インターハイや国体に出場する生徒もいます。

発災時の在籍数は217名でしたが、3年生は卒業していたことと、発災当日が登校日ではなかったことにより、学校には課外や部活動に来た65名程度の生徒しかいませんでした。校舎は高台にあるため、登校していた生徒は無事でしたが、自宅にいた2名の生徒が犠牲になりました。本校は避難所に指定されてはませんが、町内で火災が発生し、避難所となっていた山田中学校の近くまで迫っていたため、中学生とそこに避難していた地域住民が本校に移動してきました。そのほか、自衛隊のヘリでも避難者が運ばれ、最大で1,300人を超える大規模な避難所となり、最終的に解消されたのはその年の8月末でした。

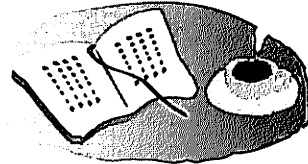
私は発災後に赴任したため当時のことはわかりませんが、以前から勤務している同僚に聞くと、メディアでは伝えきれない多くの苦労があったようです。また、保健室に来る生徒から語られる内容も想像を絶するものがあり、一緒にいなかった自分に何ができるのか悩むこともありました。しかし、生徒たちはそのことを気にする様子もなく、生徒を支えるべき立場にいる私が、生徒に助けられながら毎日を過ごしています。

現在の状況ですが、在籍数は200名で、そのうち被災している生徒が103名（約52%）です。不登校や別室登校はありませんが、カウンセリングの件数も多く、昨年度は生徒だけでのべ86件、今年度は7月までで32件です。このほかにも保健室で対応しているケースが複数あり、内容としては人間関係や家庭、進路についてが多いものの、背景には震災の影響があるように感じます。明らかに震災の影響とわかるケースとしては、卒業後にPTSDを発症した生徒や津波で家族を亡くし余震に怯える生徒がいます。また、本人が津波に流され、危機的状況から救い出されたという生徒がおり、今後が心配されます。さらに、町内は発災から2年5カ月経つても震災の爪痕がそのまま残っており、その中通学してくる生徒の心理面への影響が心配です。そういった状況の中で、長期的で継続的なこころのサ

ポートの必要性を日々感じています。

本校の状況は以上のとおりですが、近隣には津波が到達した高校もあり、同じ沿岸部でも津波が到達する学校としない学校とでは状況がまったく違います。そのため、今後はそれぞれの地域の特性を考慮した研究や研修が必要だと感じます。

最後に、全国の養護教諭のみなさまのあたたかいご支援に対し、紙面をお借りしまして感謝申し上げます。



「私の実践と研究」リレー・レポート⑭

「養護教諭の実践を研究すること」

佐藤 倫子（札幌市立二条小学校）

この春に異動になり、勤務校は4校目になった。これまで異動の度に「養護教諭の実践とは何か」と考えさせられることが多かった。それは、「(前任の)〇〇先生は△△をしていたけれど、佐藤先生はどうしますか?」という同僚の言葉からである。それに対し、「私は養護教諭として実践してきたし、新しい職場でもそのつもりである。」と心の中で思うのだが、なかなか口に出せずに過ごしてきた。また「一人職だから理解されないのは仕方がない。」と考えることも多かった。

しかし、2008年の中央教育審議会答申後、私の意識は変わった。養護教諭は学校保健活動において中核的な役割とコーディネーターの役割を担う必要性が示されたからだ。学校内や地域の関係機関との連携の推進が求められる中、私は学校内の連携に着目し、教職員の意識調査の結果から養護教諭の実践についての課題を把握したいと考えた。

調査内容は健康相談活動とし、質問紙調査と文献研究を行った。小学校教員を対象に質問紙調査を行った結果、養護教諭に対して、心身の健康問題を見極めることや他の教職員などと連携することに高い期待を寄せていることが分かった。しかし、健康診断の結果より健康相談活動が必要であると感じた小学校教員が少ないことが分かった。また、養護教諭は保健室来室回数から心の問題がありそうだと感じる人が多いのに対し、小学校教員はいつもと違う様子から感じる人が多いことが把握された(本会第18回学術集会において報告)。

調査を経て、私は教職員の意識を考慮し、健康相談活動につながるように、児童の来室時の様子とアセスメントの結果、健康診断結果等の健康情報を発信するようになった。また、文献研究より、これまで私が何気なく行っていた児童への対応には養護教諭の実践の根拠と理論があり、それは実践を研究して得られたものであることが分かった。

研究活動を通して、研究は難しいものではあるが、自分の疑問や迷いを解決に導くものでもあることに気付くことができた。今後も、「養護教諭の実践とは何か」を「研究」によって考えていきたい。

新しい職場でも同僚からこれまでと同様の質問をされた。養護教諭の実践の研究をスタートさせた私は、根拠をもって養護教諭の実践を語り、「養護教諭として□□したいです。」と伝えることができていると思う。



## トピックス

### 「男性養護教諭友の会」を紹介します！

市川 恭平（愛知県名古屋立西養護学校）

#### I はじめに

みなさんは、男性の養護教諭に会ったことはありますか。全国に49人という稀少な存在（平成24年度文部科学省統計要覧による）に、どんなイメージをおもちですか。そんな男性養護教諭にもささやかな全国組織があります。

#### II 「男性養護教諭友の会」発足

北海道でかつて養護教諭であった横堀良男氏をご尽力され、全国約10人の男性養護教諭の名簿を作成しました。そのメンバーの一人である篠田大輔氏が「他の男性養護教諭がどんな人か、会ってみたい」と強く願って平成22年に「男性養護教諭友の会」を立ち上げ、その年から年に一度の「男性養護教諭の研修会」が開催されることになりました。

#### III 年に一度の大切な研修会 ～特色の変化～

##### 第一回 船出の初回（愛知県名古屋市）

総勢30人で、養護教諭を目指す男子学生も多くいる中、全国各地から現職男性養護教諭が10人集まりました。「自分以外の男性養護教諭が本当にいるんだ！」という感動と高揚感に包まれた会となりました。

##### 第二回 より多く男性の声を（埼玉県さいたま市）

男性養護教諭の生の声を聞く企画を多く設定し、男性養護教諭の仕事の様子を伝えるとともに、男性養護

教諭共通の悩みを明確にすることができました。

##### 第三回 より深い実践発表を（京都府京都市）

男性養護教諭へのインタビュー企画は継続しつつ、実践発表を取り入れ、より研修らしい研修となりました。中でも、ギターを使った特色ある実践発表は、現職男性養護教諭の多様な人間性を表しているようでした。

##### 第四回 女性の声も（兵庫県神戸市）

今年8月に行われた研修会は、男性養護教諭参加者が15人を超える中、女性養護教諭や研究者も多く参加し、多くの実践発表と質疑応答から、「性別」と「養護教諭の専門性」との関わりについて見つけ直すきっかけとなりました。

#### IV これから

第五回は、岐阜での開催を予定しています。今後の友の会の活動を考える上でも非常に重要となるのが、第21回学術集会の中で行われるミニシンポジウム「養護教諭をめぐる課題－男性養護教諭を通して考える－」です。男性養護教諭の実践や、研修会の様子をより具体的にお伝えし、他のシンポジストの方やフロアの方から広くご意見をいただき、「性別」と「養護教諭の専門性」との関わりについて改めて見つけ直すことができると考えています。多くの方のご参加をお待ちしております。

## 日本養護教諭教育学会 2013 年度総会告示

理事長 三木とみ子

下記の日程で2013年度総会を開催致します。

欠席される方は、同封の委任状を9月30日（月）必着にてお送り下さい。

☆日 時：2013年10月13日（日）

13：20～14：20

☆場 所：シーサイドホテル舞子ビラ

☆議 題：1. 2012年度事業報告

2. 2012年度決算・監査報告

3. 2013年度事業経過報告

4. 2013年度補正予算審議

5. 2014年度事業計画

6. 2014年度予算審議

7. 内規の制定

8. 選挙管理委員の選出

9. 研究助成金対象研究の選定

10. 第23回学術集会（2015年）

11. その他

## 学会誌第17巻第2号の投稿原稿の募集

(2014年3月発刊予定)

齊藤ふくみ(編集委員会事務局)

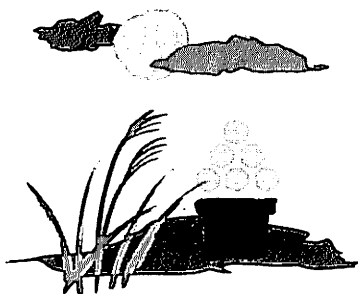
「養護教諭」を冠した学会誌にふさわしい養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動に関わる研究成果(論文)を募集しています。論文の投稿は年間を通して受け付けていますが、目安として第17巻第2号(2014年3月発刊予定)への投稿は2013年9月30日(月)必着とします。投稿される際には、投稿規定(学会誌第16巻第2号97-102頁)を熟読されて、十分推敲された原稿をご投稿ください。昨年の第20回学術集会で発表された研究を論文としてまとめて投稿いただくなどご検討ください。

なお、受理までに長期間を要する場合は第18巻以降の掲載になることもあります。

- 投稿資格:本学会会員であること(共著者含む)。
- 論文の内容・テーマ:本学会の目的(会則第2条「本学会は、養護教諭教育(養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動)に関する研究とその発展を目的とする。」にかなう論文であること。
- 「研究目的・研究方法・結果・考察」が論理的に一貫していること。
- 倫理的に問題がないこと(学会誌第16巻第2号96頁の本学会倫理綱領を参照のこと)。
- 原稿の種類:論壇、総説、原著、研究報告、調査報告、実践報告、研究ノート、資料、その他です。原稿は未発表のものに限ります。
- 原稿の页数:タイトル、抄録(原著の場合)、本文、図及び表を含めた規定枚数を遵守してください。

### <編集委員会事務局>

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号  
茨城大学教育学部教育保健教室 齊藤ふくみ  
TEL/FAX 029-228-8298(研究室直通)  
e-mail: fukumi@mx.ibaraki.ac.jp



## 事務局より

圓岡和子(事務局長)

### ●住所等変更はお早めに連絡を!

転勤・就職などで連絡先が変更になった方は、メールかFAXにて事務局まですみやかにご連絡ください。特にお届け先を勤務先に指定している方は、転勤・転職が決まりましたら、事務局にもご一報下さい。

### ●学術集會会場に事務局ブースを開設します

第21回学術集會の会場内に学会本部事務局を開設します。年会費の納入の他、新入会の受付、会員登録の変更などの諸手続きができます。まだ年会費をお支払いされていない方も、どうぞご利用下さい。また、学会誌の販売も行っています。通常は非売品としている第9巻1号以降の学会誌も、学術集會中に限り販売しています。学会員以外の方も購入できますので、この機会にどうぞお買い求め下さい。

### ●委任状の提出をお願いします

2013年度総会に欠席される方は委任状の提出をお願いします。同封した委任状に必要事項をご記入の上、50円切手を貼って事務局までお送り下さい。

### ●年会費の納入をお願いします

年会費をお支払いされていない方は、できるだけ早く納入してください。

### ●「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集<第二版>」販売中です

用語の解説集を会員外の方にも500円でお譲りしています。10冊以上で申したいと送料無料で。まだお持ちでない方にどうぞご紹介ください。お申込みは事務局まで。

## 編 集 後 記

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

また忙しい日々が始まりますが、そんな日々の実践の中に研究の素材があり、学会でも実践を研究として発表されるものがあります。

神戸学会まで1ヵ月となりました。皆様にお会いできることと、沢山の研究に触れることを楽しみにしています。(古賀)

